

Acroporidae ミドリイシ科

*Acropora* ミドリイシ属

***Acropora monticulosa* (Brüggemann, 1879)**

**(Figs. 1-10)**

*Madrepora monticulosa* Brüggemann, 1879: 576 [Rodriguez, Luzon Islands, Philippines]; Brook 1893: 130, pl. 14, fig. A.

*Acropora (Acropora) monticulosa*: Veron & Wallace 1984: 174, figs. 404-411; Wallace 1999: 122, pl. 8, figs. A-I.

*Acropora monticulosa*: Nishihira & Veron 1995: 93 (part), lower fig., 1 skeleton fig.; Veron 2000: vol. 1, 320, figs. 1-6, 1 skeleton fig.; Wallace, Done & Muir 2012: 130, fig. 63.

not *Acropora monticulosa*: Nishihira 1988: 40, 2 figs. (= *Acropora gemmifera*); Uchida & Fukuda 1989: 66, 2 figs. (= *Acropora papillare*); Nishihira & Veron 1995: 93 (part), upper & middle left figs. (= *Acropora gemmifera*), middle right fig. (= *Acropora humilis*).

スボミミドリイシ 新称  
(図 1-10)







図 1, 2. MIY-KK2014-036. 宮古島東保良湾沖礁斜面, 水深 6 m. 2014-01-23. 梶原健次.

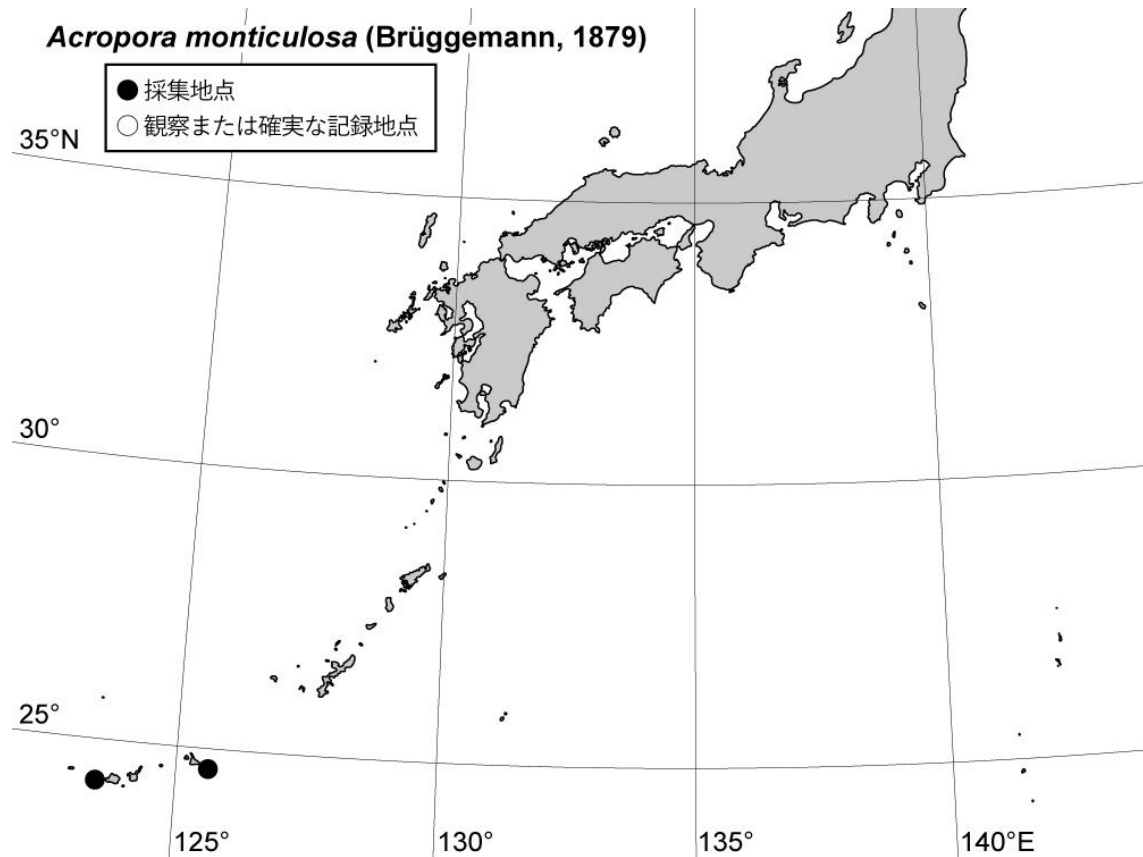
図 3, 4. MIY-KK2014-146. 西表島網取湾ウーピー先端, 水深 3 m. 2014-07-02. 梶原健次.

図 5-10. MYK-14-024, 和名基準標本. 八重干瀬ウツグス・ヌ・ッスウヒダ東, 水深 3 m. 2014-09-02. 下池和幸. 塊樹木状の群体形から *Acropora robusta* ヤスリミドリイシのように見えるが、放射サンゴ個体の開口部がほとんど欠刻しないで窄む点異なる。

**形態：**群体形は被覆状または板状の付着基部からマウンド状または円錐形の直立枝が伸びる被覆指状で、希に塊樹木状に成長することもある。直立枝の基部の直径は 15~60 mm で先端は窄む。中軸サンゴ個体はほとんど突出せず、サイズは放射サンゴ個体と同程度に小さい。隔壁は良く発達し、1次隔壁は  $3/4R$  以下、2次隔壁は  $1/4R$  以下で見られないこともある。放射サンゴ個体は不規則に密生し、付着基部ではほとんどが埋没状であるが、直立枝の根元付近では半埋没状が多く、枝先に向かうに従って長い管状のサンゴ個体の割合が増える傾向にある。開口部は円形または楕円形で、ほとんど欠刻せずに窄んでいる。1次隔壁は  $1/2R$  以下、2次隔壁は棘が見られる程度で、欠くこともある。共骨は側偏棘や側偏細分棘が密に並ぶ網目状で、放射サンゴ個体の側面では棘を伴う荒い肋状になる。

**識別点：**GEMMIFERA GROUP の中で中軸サンゴ個体が特に小さいこと、放射サンゴ個体が円形開口の管状または半埋没状でほとんど欠刻せずに先端が窄むことなどで識別できる。*Acropora robusta* ヤスリミドリイシも中軸サンゴ個体が小さく群体形も似ているため本種と混同するかもしれないが、この種の放射サンゴ個体は欠刻開口の管状であるなどの点で識別できる。放射サンゴ個体が半埋没状の群体は *A. papillare* サンカクミドリイシと似ているが、*A. papillare* の放射サンゴ個体は外唇が水平方向に張り出した唇弁状であることから明確に識別できる。

**分布と生態：**西太平洋・インド洋のサンゴ礁海域に広く分布し、波当たりの強い礁斜面の浅所で希に見ることができる。国内では沖縄本島以南で記録されているが、他種と混同されている可能性があり確認が必要である。色彩は褐色、緑色などで、枝の先端部は淡くなることが多い。



**和名の由来：**本種は円錐形に立ち上がる直立枝の形状から、群体形が似た複数の種と混同されてサンカクミドリイシと呼ばれてきた。この和名は白井 (1977) によって *A. digitifera* のシノニムである *A. pyramidalis* (Klunzinger, 1879) に対してつけられているが、これは誤同定で、正しくは *A. papillare* である。また、白井・佐野 (1985) に *A. robusta* サンカクミドリイシとして掲載された写真、および内田・福田 (1989) に *A. monticulosa* サンカクミドリイシとして掲載された写真も *A. papillare* であると見受けられる。従って、*A. papillare* の和名をサンカクミドリイシとすべきであり、杉原ら (2015) によって提唱されたタケノコミドリイシは異名となる。本種は和名を失うため、直立枝の先端が窄むこと、および放射サンゴ個体の開口部が窄むことに因んでスポミドリイシを提唱する。和名基準標本は MYK-14-024 である。

**備考：**本種の原因記載である Brüggemann (1879) では、放射サンゴ個体は準唇弁状か管状に近いと記されている。また、Brook (1893) に掲載されている担名タイプの写真からは、板状の付着基部からマウンド状の突起が出る群体形で、放射サンゴ個体のほとんどが管状個体の一部が埋没した半埋没状であることが伺える。Veron & Wallace (1984) 以降の文献では、放射サンゴ個体が長い管状のものも含めて本種とされており、むしろ様々な長さの管状個体が混在することが一般的な種認識となっているようである。本稿ではこれら放射サンゴ個体の形状の違いを種内変異として認めるが、隠蔽種の可能性もあり、今後の検討が必要である。

参考：担名タイプの図・写真

*Madrepora monticulosa* Brüggemann, 1879. — Lectotype, NHM 1876.5.5.93 in Brook (1893) pl. 14, fig. A [[BHL](#)]

引用文献：

Brook G (1893) Catalogue of the madreporarian Corals in the British Museum (Natural History), Vol. I. The genus *Madrepora*. Trustees of the British Museum, London. [[BHL](#)]

Brüggemann F (1879) Corals. Philos Trans R Soc Lond, B, Biol Sci 168: 569-579. [[JSTOR](#)]

西平守孝 (1988) フィールド図鑑 造礁サンゴ. 東海大学出版会, 東京.

西平守孝・Veron JEN (1995) 日本の造礁サンゴ類. 海游社, 東京.

白井祥平 (1977) 原色沖縄海中動物生態図鑑. 新星図書, 那覇.

白井祥平・佐野芳康 (1985) 石垣島周辺海域サンゴ礁学術調査報告書. 太平洋資源開発研究所, 石垣.

杉原薫・野村恵一・横地洋之・下池和幸・梶原健次・鈴木豪・座安佑奈・出羽尚子・深見裕伸・北野裕子・松本尚・目崎拓真・永田俊輔・立川浩之・木村匡 (2015) 日本の有藻性イシサンゴ類. 種子島編. 国立環境研究所生物・生態系環境研究センター, つくば. [[国立環境研究所](#)]

内田紘臣・福田照雄 (1989) 沖縄海中生物図鑑 第9巻 サンゴ. 新星図書出版, 浦添.

Veron JEN (2000) Corals of the world, vol. 1. Australian Institute of Marine Science, Townsville.

Veron JEN, Wallace CC (1984) Scleractinia of eastern Australia, part V. Family Acroporidae. Australian Institute of Marine Science, Townsville. [[BHL](#)]

Wallace CC (1999) Staghorn corals of the world: A revision of the coral genus *Acropora* (Scleractinia; Astrocoeniina; Acroporidae) worldwide, with emphasis on morphology, phylogeny and biogeography. CSIRO Publishing, Melbourne.

Wallace CC, Done BJ, Muir PR (2012) Revision and catalogue of worldwide staghorn corals *Acropora* and *Isopora* (Scleractinia: Acroporidae) in the Museum of Tropical Queensland. Queensland Museum, Brisbane. [[ResearchGate](#)]

執筆者：下池和幸

**Citation：**

[JP] 下池和幸 (2023) *Acropora monticulosa* (Brüggemann, 1879) スポミミドリイシ. 日本造礁サンゴ分類研究会, 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑.

Accessed at: [https://coralmonogr.jpn.org/Acropora\\_monticulosa.html](https://coralmonogr.jpn.org/Acropora_monticulosa.html) on 2023-11-12.

[EN] Shimoike K (2023) *Acropora monticulosa* (Brüggemann, 1879). In: Japanese Society for Coral Taxonomy. Online Monograph of Zooxanthellate Corals of Japan.

Accessed at: [https://coralmonogr.jpn.org/Acropora\\_monticulosa.html](https://coralmonogr.jpn.org/Acropora_monticulosa.html) on 2023-11-12.

更新履歴：

2023-11-12 公開